

令和5年度
事業計画

社会福祉法人 東桜会

《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永続し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

《社会福祉法人東桜会》

〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
 - (1)介護老人福祉施設 麻機園
 - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
 - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
 - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
 - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
 - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
 - (1)要支援、要介護認定の訪問調査（麻機園ケアプランサービス）
 - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
 - (1)介護予防ケアマネジメント業務

〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域連携担当職員を配置し、法人が地域社会に貢献する取組みの業務を担わせる。新型コロナウイルス感染症に充分留意し、施設を開放した地域住民へのサービスや、地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。また、地域の民生委員や地区社協、放課後こども教室実行委員会等と連携するなどして、地域住民と子どもたちの活動の機会が持てるようにサポートする。

〔4〕監事監査、理事会、評議員会等の開催予定

- | | | |
|------------|-----|-----------------------------------|
| ①監事監査 | 5月 | 令和4年度事務事業及び決算の審査 |
| ②第1回理事会 | 5月 | 令和4年度事業報告、決算及び定時評議員会予定、次期役員候補者の選定 |
| ③定時評議員会 | 6月 | 令和4年度決算認定、次期役員の選任 |
| ④監事定期監査 | 10月 | 令和5年度定期監査 |
| ⑤第2回理事会 | 10月 | 令和5年度補正予算、事務事業の報告等 |
| ⑥第1回臨時評議員会 | 10月 | 令和5年度補正予算承認 ※補正予算がある場合 |
| ⑦第3回理事会 | 12月 | 事務事業報告等 |

⑧第4回理事会 3月 令和5年度補正予算及び令和6年度事業計画及び予算など

⑨第2回臨時評議員会 3月 令和5年度補正予算及び令和6年度事業計画及び予算承認

※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには、臨時に理事会、評議員会を開催する。

〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

①ダムウエータ改修修繕

②居室網戸、外構フェンス等の改修取替

③業務の効率化・業務負担の軽減化の為、利用者見守り機器・ICTの導入

④空調設備更新修繕等

⑤電話設備更新

⑥感染症対策に係る設備等の改善・導入

2. ケアハウス桜花

①建物周囲地盤沈下への対応（正面玄関・裏玄関段差解消、および埋設配管の修繕）

②電話設備・課金装置、電気使用量等集中監視装置更新

③業務の効率化・業務負担軽減化に向けたICTの導入

④感染症対策に係る設備等の改善・導入

〔6〕施設職員関係の会議・委員会・研修

1. 定期的に会議を開催する

(1) 全体会議・委員会

①職員会議 ②部門連絡会 ③在宅利用連絡会 ④厚生委員会 ⑤研修委員会 ⑥広報委員会

⑦事故防止委員会 ⑧感染症対策委員会 ⑨身体拘束廃止委員会

(2) 麻機園

①優先入所検討委員会 ②介護職会議 ③リーダー会議 ④パート会議

⑤行事担当者会議 ⑥給食会議 ⑦安全委員会 ⑧衛生委員会 ⑨褥瘡予防委員会

⑩食事委員会 ⑪排泄委員会 ⑫入浴委員会 ⑬事故検討委員会 ⑭サービス検討会

(3) 桜花

①在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。

②職員の資質向上のため外部研修に参加するとともに内部研修を開催する。

（内部研修の種類）①感染症予防研修 ②事故対応研修 ③虐待防止研修 ④身体拘束研修

③入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。（桜花会議、②給食会議）

2. 在宅部門を含めた全体会議を主催し職員相互の連携を計るとともに、定期的に部門毎、職種毎の会議を開く。

3. 委員会や担当者会議を開催し、利用者処遇の向上や、効率的な介護体制作りに努める。

4. 職員研修の充実

①身体拘束研修 ②感染症予防研修 ③事故対応研修 ④虐待防止研修

- ・職員会議、介護職会議を利用し計画的に研修を行う。
- ・職員全員が参加できる開催方法とする
- ・知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。
- ・外部講師に依頼し施設内研修を行う。

《特別養護老人ホーム麻機園》

〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 導入した介護記録システムに習熟し、情報共有等の効率化を図る。
4. 介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

〔2〕運営

1. 入所率を98%以上に保つ。

優先入所検討委員会を適宜開催、他特養や老健の相談員、ケアマネジャーと連携し情報交換を行う。入所相談では法人の説明だけでなく、制度の説明や相談者に合った施設の紹介を行い、老人福祉の相談所としての役割を果たす。

2. 家族説明会を開催する。

家族説明会を開催できない時は、代替として個別に電話や書面等でサービスの変更や制度変更、申請の補助を行う。

〔3〕利用者処遇

<相談員>

1. 入所者と家族が安心して過ごせるように努める。
 - ・入所者の居室を訪室し個々に話をする、入所者の思いを聴く機会をつくる。
 - ・行事計画時入所者の意見を反映できるようにする。
 - ・入所者に話を聴いた時は、記録を残し他職種と情報を共有しカンファレンス等に役立てる。
2. 家族の希望、意向を伺う機会をつくる。
 - ・電話連絡時や面会時等、家族の希望や意向を聴くように努める。
 - ・入所者の様子を家族へ報告する機会を増やす。
 - ・定期的に家族へ広報誌や入所者の写真を送る。
 - ・直接面会や窓越しの面会を継続し、入所者、家族が安心できるように努める。
 - ・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。
 - ・入所者が車椅子や靴、補助食器、付加食品等、必要としている物を検討し購入する。

<機能訓練>

1. 入所者の残存機能の維持向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない個々に適した目標を設定する。
- ・普段の生活の中で出来ることを増やしその人らしく自立した日常生活の維持向上に努める。
- ・拘縮予防や褥瘡の発生を防ぐため、適切なポジショニングを行う。
- ・3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。

2. 楽しんで生活してもらるように援助する。

- ・集団機能訓練を1回30分間実施し楽しさを伴い心身の健康や生活の質の向上に努める。
- ・季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。
- ・行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。
- ・感染症の状況をみて、外出の機会を作り日常の生活を楽しくしてもらるように援助する。

<給食>

1. 快適な食環境づくりに努め、安全で喜びのある美味しい食事を提供する。

- ・嗜好調査並びに残食調査を計画的に実施し、入所者個々の嗜好並びに心身にあった栄養のバランスのとれた質の高い食事を提供
- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
- ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しくもらう。
- ・嗜好調査並びに残食調査を計画的に実施し、入所者個々の嗜好並びに心身にあった栄養のバランスのとれた質の高い食事を提供する。
- ・安全安心な食事提供のため委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
- ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。

2. 健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。

- ・入居者個々の健康診断結果を基にした食事カルテを作成し、摂取状況並びに体重変動などの経過観察を行う。また、入所者からの健康相談（食生活等）に随時対応するなど食事面から入居者個々の健康維持増進を図る。

3. 災害時の給食体制を強化する。

- ・非常時のメニューに沿った備蓄食品を確保し消費期限の確認、在庫管理を行う。
- ・炊き出し訓練を年1回実施する。

<看護>

安心でその人らしい生活ができるように健康面から援助する。

1. 感染予防を意識し、入所者の健康を維持する為の看護対策。

- ・毎日の手洗い、うがい、建物の換気を実行するよう喚起し、他職員にも啓発する。
- ・入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。

2. 自然な生活の延長にある看取りへの看護。

- ・終末期を穏やかに過ごせるような環境づくりを多職種連携していく。

[4] 防災対策・感染症対策

1. 近年多発する土砂災害や水害等に対する備えを充実するために、自然災害に対する職員の防災知識を向上させると共に訓練を行う。避難方法、必要な設備・備品等の整備を行う。
2. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行、設備

の使用方法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。

3. BCP（事業継続計画）を作成する。
 - ・必要物品の検討および購入
 - ・自然災害、感染症についての研修、訓練の実施
4. 新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を収集するとともに、職員の感染症対策に対する知識を向上させる研修・実習を行い、感染症対策用品や備品設備の整備を押し進める。
5. 感染症に関連する通知や制度の変更に関する情報の収集に努め、施設事業の経営に反映する。

《ケアハウス桜花》

〔1〕基本方針

安心して楽しく生きがいのある生活が送れるよう支援する。

〔2〕運営

1. 安定した入居率の運営
 - ・年間入居率95%以上を目指す。
 - ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等への営業活動
 - ・町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。
2. 高齢者の特性に配慮した環境の整備
 - ・施設内外の設備を確認し必要な修繕を行い、安全に暮らせる環境を整える。
3. 相談機能の充実
 - ・入居者からの相談に傾聴・対応し、安心して生活が送れるように努める。
 - ・入居相談に対して「この施設に入居してみたい」との印象がもてるような接客を心がける。

〔3〕入居者処遇

1. 健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。
 - ・感染症にかからないよう予防対策のため注意喚起、情報提供に努める。
 - ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
 - ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
 - ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを提案し円滑に利用できるように支援する。
 - ・家族やサービス事業者等と入居者の近況の生活状況を報告し信頼関係を構築する。
2. 残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。
 - ・感染症対策を講じた上で、喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し工夫のある余暇活動を提供する入居者間の交流の機会を設ける。
 - ・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。

<給食>

1. 快適な食環境づくりに努め、安全で喜びのある美味しい食事を提供する。
 - ・嗜好調査並びに残食調査を計画的に実施し、入居者個々の嗜好並びに心身にあった

栄養のバランスのとれた質の高い食事を提供

- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
 - ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
 - ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
 - ・嗜好調査並びに残食調査を計画的に実施し、入居者個々の嗜好並びに心身にあった栄養のバランスのとれた質の高い食事を提供する。
 - ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
 - ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。
2. 健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。
- ・入居者個々の健康診断結果を基にした食事カルテを作成し、摂取状況並びに体重変動などの経過観察を行う。また、入居者からの健康相談（食生活等）に随時対応するなど食事面から入居者個々の健康維持増進を図る。
 - ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。
 - ・日々の連絡や会議等を利用して情報の交換・共有を徹底する。
3. 災害時の給食体制を強化する。
- ・非常時のメニューに沿った備蓄食品の確保および消費期限を確認し在庫管理を行う。
 - ・炊き出し訓練を年1回実施する。

〔4〕施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行うと共に、居室内の設備等の状況にも配慮し、安全で住みよい環境を整える。

〔5〕防災対策

1. 自然災害および感染症発生時の事業継続計画（BCP）を作成する。
2. 入居者、職員向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
2. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
3. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。

《在宅サービス》

〔1〕麻機園ショートステイ

1. 年間を通して稼働率75パーセントを目指す。
新規（緊急、ロングを含む）の依頼にも敏速に対応し稼働率の向上に努める。
2. 新規利用時は多くの情報を収集し、また、本人、家族の意向、身体状況について他職種との情報を共有することにより、よいサービスが提供できるようにする。
3. 利用中の状態変化時は、家族及びケアマネジャーに迅速かつ的確に情報の提供を行う。
4. 施設内に感染症を持ち込まないよう、利用前の本人及び家族の健康状態をより詳しく収集し、送迎車両の消毒を行う等感染対策を徹底する。

〔2〕麻機園デイサービスセンター

1. 平均利用者数10人をめざす。
2. 感染予防を継続し利用者が安心して利用できるよう努める。
3. 実績転送の際に空き情報を事業所に伝える。
4. 利用者に季節を感じてもらえるようなレクリエーションを提供する。

〔3〕麻機園ヘルパーステーション

1. 住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。
 - ・思い込みで行動せず、利用者が何を望んでいるか想像し利用者の気持ちを考える。
 - ・「言葉遣い」が上から目線にならないよう正しい敬語を使う。
 - ・報連相と情報共有「観察・報告・記録」を徹底する。
 - ・感染症予防を徹底する。(感染しない・うつさない)
2. 利用者を増やし稼働率をあげる。
 - ・利用者30人、毎月稼働率50%以上を目指す。
 - ・居宅介護支援事業所への報告(情報・対応)は的確、迅速に行い連携を図る。

〔4〕麻機園ケアプランサービス

1. 地域包括や民生委員と連携し地域支援を行いながら困っている方の支援を行っていく。
 - ・地域包括や民生委員との関係を密にしていく。
 - ・地域の行事や地域の介護の勉強会に参加しながら、困っている方の介護相談を行い、介護保険の申請が必要な場合は支援していく。
2. 感染予防に努めながら医療や多職種との連携を密に行い、利用者が在宅生活を続けることができるよう努める。
 - ・検温、消毒等感染予防を徹底する。
 - ・利用者の多様なニーズに対応できるよう自己研摩に努め、幅広い知識をもつ。
3. 地域資源を活用しながら利用者の自立支援を図ることができる。
 - ・インフォーマルサービスの活用をプランに盛り込み、利用者が住み慣れた地域と共存していけるよう支援していく。